

「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」は、幼い少女の命が奪われるという痛ましい事件が相次いだことを受け、子どもたちの安全を確保し、安心して活動できる社会を創るために、臨時総会を開催し、緊急アピールを発表しました。

緊急アピール

学校・家庭・地域の社会全体で子供を見守り、はぐくもう 一次代を担うかけがいのない子供たちの命と安全を確保するために

地域教育推進ネットワーク 東京都協議会は、都教育委員会、企業、経済団体、NPO 団体など多様な関係者が子供たちの教育・育成を支援することを目的にして結成されたものです。

今回、広島県及び栃木県で尊い子供の命が奪われてしまった事件は、社会に大きな衝撃と深い悲しみをもたらしています。本来ならば、保護されるべき小・中学生の子供たちが犠牲となる、このような痛ましい事件を二度と繰り返さないようにするためには、登下校時はもとより、放課後や週末など子供たちのすべての生活の場で安心・安全を確保して、子供たちが生き生きと活動できる環境を整えることが必要です。

こうした状況を踏まえ、私たち地域教育推進ネットワーク 東京都協議会の会員は、子供の安全に関する取組を積極的に進めてまいります。

また、社会全体で子供を見守り、育成するために、以下のことを都民の皆様に呼びかけます。

- 子供が安心して生活し、活動できる環境を社会全体でつくろう
- 我が子だけでなく、すべての子供も地域の子供として、見守ろう
- 子供の自分自身を守る力を育てよう
- 高校生など若者が、子供の安全に関する取組に積極的に参加しよう
- 社会の多様な教育力や知恵を生かして、安全な地域をつくろう

都民一人一人やそれぞれの団体が手を携えて、これらの取組を実現するために努力していきましょう。

平成17年12月27日
地域教育推進ネットワーク 東京都協議会